

2023年度第4回理事会報告

開催日時:2023年12月16日(土) 10:00~12:00

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2023年度第4回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、14名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2024年度業務委託契約について

財務担当室田理事より、2024年度業務委託契約書類について、配付資料を基に説明があった。審議の結果、2024年度業務委託契約が満場一致で承認された。

第3号議案 第9期役員候補者選挙管理委員の委嘱について

総務担当木下理事より、配付資料に基づき第9期役員候補者選挙管理委員会を設置するとの説明があった。「一般社団法人日本社会福祉学会役員候補者選出規則」第4条に基づいて、担当理事として木下理事、委員として正会員より4名の推薦があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 第71回秋季大会での研究発表への見解について

総務担当木下理事より、第71回秋季大会(於:武蔵野大学)での研究発表に関する問い合わせについて説明があった。審議の結果、提示された回答文案が賛成多数により承認された。

第5号議案 その他

特になし。

IV. 報告事項

1. 2023年度会員動向

総務担当木下理事より、2023年度の会員動向について報告があった。

2. 2024年度事業計画案および予算案の提出について

総務担当木下理事より、2024年度事業計画書および予算案の提出依頼があった。

3. 2023年度期中監査報告

大島監事および岡部監事より、12月7日に行われた2023年度期中監査について、配付資料に基づき報告があった。

4. 第8期代議員選挙管理委員会からの報告

第8期代議員選挙管理委員会担当の木下理事より、今回の投票率は全国が18.8%、地域が18.9%で、当選確定者が160名であったとの報告があった。

5. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

6. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

7. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より、第71回秋季大会前日の日中韓三か国代表者会談および懇親会、第71回秋季大会で開催された留学生と国際比較研究のためのワークショップならびに国際学術シンポジウムについて報告があった。

また、10月20日(金)～21日(土)に韓国済州島にて韓国社会福祉学会による社会福祉共同学術大会が開催され、日本社会福祉学会より3名を自由研究発表者として派遣したことを確認した。

8. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、学会賞審査対象図書の推薦について配付資料に基づき報告があった。今回よりウェブ上で推薦申込ができるよう推薦フォームを用意している。また、各地域ブロック発刊の機関誌に掲載された優れた論文を審査対象論文として積極的に推薦するよう、あらためて各地域ブロックに対して協力要請があった。

9. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当村山理事より、現在進行中の調査案件はないとの報告があった。

10. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事にかわり木下事務局長より、12月4日に「広報委員会だより」通算67号をメール配信し、最近の学会動向について会員への周知を行ったとの報告があった。現在は学会ニュース95号の発刊に向けて企画案を練っているところである。

11. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、学会史資料調査の第3弾を予定しているとの報告があった。

12. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、2024年2月11日（日）に関西地域ブロック第55回若手研究者・院生情報交換会との共催で第4回CS-NETサロンを開催するとの報告があった。CS-NETサロンとしては初めてのハイブリッド開催とする予定である。

13. 学会のあり方検討会（基本構想委員会）からの報告

総務担当木下理事より、12月28日（木）に委員会を開催し、継続課題についての検討を予定しているとの報告があった。

14. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：2024年2月10日（土）に研究会の開催を予定している。
- ・東北地域ブロック：機関誌20号を記念号として査読等の編集作業を進めている。
- ・関東地域ブロック：2024年3月17日（日）に2023年度研究大会の開催を予定している。
- ・中部地域ブロック：前回理事会以降、報告事項は特になし。
- ・関西地域ブロック：2023年度年次大会および総会は2024年3月2日（土）に桃山学院大学での開催を予定している。また、研究支援委員会との共催で2月11日（日）に開催する第55回若手研究者・院生情報交換会の準備を行っている。
- ・中国四国地域ブロック：地域ブロック発刊の機関誌に掲載されている抄録や論文等について、民間企業・組織が運営する論文検索サイトより掲載依頼があった際、地域ブロックの裁量により諾否の判断をしてよいことを確認した。
- ・九州地域ブロック：「九州社会福祉学」第20号（記念号）の査読・校正作業中である。

15. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

- ・後援（協賛）依頼について
前回理事会での報告以降、後援依頼への対応なし。
- ・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より、研究支援委員会による初期キャリアにある研究者のニーズ調査報告書を踏まえて、日本社会福祉系学会連合で調査の実施を計画しているとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

金子副会長より、2024年賀詞交歓会の開催準備が進んでいるとの報告があった。本会は昨年度と同様に不参加とすることを確認した。

3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より、2024年3月9日(土)に東洋大学白山キャンパスおよびオンライン配信にてシンポジウムの開催を予定しているとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2024年3月9日(土)に「なぜ、社会的孤立は問題なのか?」をテーマに公開シンポジウムのオンライン開催を予定しているとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

報告事項は特になし。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

報告事項は特になし。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

空閑会長より、12月2日(土)―3日(日)に第52回全国社会福祉教育セミナーが大阪公立大学中百舌鳥キャンパスにて4年ぶりに対面開催され、盛会に終わったとの報告があった。

議長は、議事終了を告げ、12時00分に理事会を解散した。

以上